

# 30E13-am08

## プライマリ・ケア臨床薬剤師研修の報告

○大庭 貴子<sup>1</sup>, 戸田 芳美<sup>1</sup>, 小林 剛人<sup>3</sup>, 阿部 佳子<sup>4</sup>, 藤沼 康樹<sup>2</sup>(<sup>1</sup>ひまわり企画ひまわり薬局浮間店, <sup>2</sup>日本生協連医療部会家庭医療学開発センター, <sup>3</sup>ひまわり企画あすか薬局, <sup>4</sup>生協浮間診療所)

### 【はじめに】

2008年東京都保健医療計画において、薬局・薬剤師も医療提供施設として明確に位置付けられ、地域医療ネットワークに参画することが求められることになった。地域医療薬学の分野に特化した薬剤師の必要性から、日本生協連医療部会家庭医療学開発センター長である藤沼医師をアドバイザーとし薬剤師の教育システムとしてのプライマリ・ケア臨床薬剤師研修を2010年に立ち上げたので報告する。

### 【プログラム】

#### —目標—

- Pharmaceutical care
- Communication and Consultation skills
- 地域プロジェクト
- チームによる患者中心のケア・QI
- 在宅医療、緩和ケア
- クレーム対応・リスクマネジメント
- 教育
- マネジメント・経営スキル
- 生涯学習のスキル（情報収集と評価・EBM・DI）

#### —ローテーションスケジュール—

3年間（ワンデイバック・リサーチプロジェクト、EBM）

1年目：調剤業務（基礎研修）

2年目：地域病院6か月・大病院6か月

3年目：在宅・緩和ケア・代替医療・地域医療活動

#### —評価—

ショーケースポートフォリオ

【中間報告会の発表内容】 9事例